

地域史料のデジタルアーカイブ 2023 中間発表

J20052 竹中丈二

・活動の趣旨

地域に保管され、活用機会が与えられない地域史料をネット公開し、地域づくりや地域探究活動の発展に寄与すること。

・活動の詳細

「地域史料のデジタルアーカイブ_2023 前期ポートフォリオ」にて公開

URL: <https://d-commons.net/uedagaku/joji20021984?c=&p=55495>

・地域における活動報告

・上田(藤本蚕業歴史館)

歴史館内史料の再確認、デジタル化、館内展示についての話し合いを行った。また、上田市公文書館でデジタルアーキビスト養成講座の実施協力依頼、藤本蚕業歴史館所蔵史料の未来に向けたセーフティネット（移管保全）の可能性について浅野館長と打ち合わせした。

・小諸

6月に小諸商工会議所で会頭の塩川さんと専務理事の森泉さんと話し合った他、糸のまち・こもろプロジェクト理事長の清水さんと監事の土屋さんと共に文庫蔵の中の史料閲覧を行った。これらの活動から感じた小諸における課題は、小諸の地域活動をどのように面白く継続して行えるよう促せるかという点で、それを踏まえて地域アーカイブ活動を行う必要があると感じた。

・岡谷

岡谷蚕糸博物館を訪れ、話し合いを行った。具体的には岡谷蚕糸博物館を中心に長野県の蚕糸業で有名な須坂、岡谷、小諸、上田などの地域ネットワーク間でデジタルアーカイブの作成を通じDX化を推進するプロジェクトの提案を行った。

活動の課題

就職活動と並行しての活動となったため個人的な活動があまり行えなかった。8月中旬ごろに一段落するため活動を本格化させていただきたい。また、行政との連携がデジタルアーカイブ活動では重要であるが、理解が各自治体で千差万別であり、それらとどう向き合うかが今後の課題であると考えている。

今後の展望

8/4 山形視察(山形県庁、山形県立図書館でDX化の提案)

8/5 自由研究(藤本蚕業歴史館)

